

こだま



金沢大学附属図書館報 “こだま”

<http://library.kanazawa-u.ac.jp/>

第191号
2017. 1

ISSN 0915-8782

CONTENTS

- 巻頭特集：ボブ・ディランを読もう！ 1
金大生のための読書案内 5
図書館WEBサイトが生まれ変わりました 6
平成28年度 環境に関するイベント報告 7
電子ブック，続々購入中。/
English Hour！に参加しませんか？ 8
ラーニング・コモンズ活動報告／とぼらニュース 9
図書館トピックス 10

巻頭特集：ボブ・ディランを読もう！

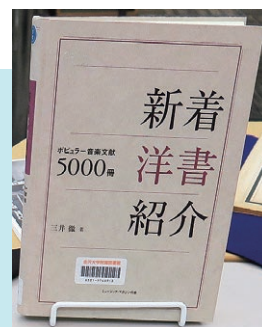


2016年のノーベル文学賞を受賞したボブ・ディラン氏に関する洋書を金沢大学で多数所蔵していることをご存じでしょうか？中央図書館では、ディランに関する評論や自著を約90冊所蔵しており、日本国内の図書館では最大級のコレクションとなっています。

今号では、ディランのことを全く知らない学生の皆さんにも「ディランの曲を聞いてみたい，詩を読んでみたい」と思ってもらえるように，ポピュラー音楽研究の権威で，国際ポピュラー音楽学会長を務められた三井徹本学名誉教授に，紙上インタビューの形で語っていただきました。

三井コレクション（ポピュラー音楽コレクション）

本学で所蔵しているディラン関係の資料を含むポピュラー音楽関連の洋書の多くは，2011年に三井徹名誉教授から寄贈を受けたものです。三井先生は，1971年から2002年にかけて，月刊誌「ミュージック・マガジン」の書評コーナーの執筆を担当されていました。約30年間の書評は『新着洋書紹介：ポピュラー音楽文献5000冊』（中央図書館 参考760.3：M684）にまとめられており，紹介された文献の多くは中央図書館の書庫に「三井コレクション」として収蔵しています。



紙上インタビュー

三井 徹先生、ボブ・ディランを語る

■今回のボブ・ディランのノーベル文学賞受賞については、先生自身、驚かれたでしょうか？

少しだけ驚きました。ノーベル文学賞は「文学の分野において理念をもって創作し、最も傑出した作品を創作」してきた人物に授与されるという基準が、果たしてシンガー・ソングライターに柔軟に適用されるかどうか不確かだったからです。「少しだけ」であったのは、4,5年前からある新聞社に、授与されたら直ぐに一文を書くようにという依頼を毎年受けており、10月になると今年は駄目でしたという電話連絡が続いていたからです。

■今回の受賞については、ディラン作品のこういった点が評価されたのでしょうか？

スウェーデン・アカデミーの選考委員の代表である事務局長サラ・ダニウスさんが10月13日に世界に向けて英語で発表した授与理由は、「アメリカの大きな歌の流れの中で、詩の新たな表現法を創り出してきた」ということでした。それに続く、集まった記者たちの質問に対する答えによると、口頭の表現である歌を評価の対象にしていることが判ります。そして、「アパラチア山脈の民謡、南部のデルタ・ブルーズから、フランスのモダニズムのランボーにまで及び、その文化遺産をまったく独自の流儀で処理している」と説明し、そこに「アメリカの大きな歌の流れ」が何を指すのかを示し、詩ということでは、「ランボー」に言及している他に、「ミルトン、ブレイクから続く優れた英語詩の流れにある卓越した詩人」と言っています。

なお、ディランが自分のアルバムに歌詞を載せなくなったことが、口頭の表現であるという意識を強く反映していると思います。70年代半ばには全歌詞集が出るのを容認していましたが、私自身に関連して言えば、92年に出たアルバムの日本発売盤では、CBSソニーの依頼で歌詞の聴き取り、及び対訳を担当し、翌93年のアルバムでも、同じく注文を受けて歌詞聴き取りと対訳を完成させていたのに、ディランからそれを付けないでくれとの指示があり、原稿はお蔵入りになったことがあります。

■ディランといえば、社会問題等を扱った「プロテスト・ソング」の歌手という、ちょっと硬いイメージがあるのですが、実際にはどういう内容の詩が多いのでしょうか？

その種の歌がディランを特徴づけていたのは、活動初期の2,3年だけで、その後の歌は内省的な内容に変わり、音の面でもロック音楽の方に傾いていき、英語詩、仏語詩の流れを汲み取っていきます。

ボブ・ディラン Bob Dylan

アメリカのシンガー・ソングライター。1941年ミネソタ州ダルス生まれ。1959年ミネソタ大学に入学したが、フォーク歌手ウディ・ガスリーの影響を受けて、フォーク・ソングを町のコーヒーハウスで歌うようになり大学を中退。イギリスの詩人ディラン・トマスにちなんでボブ・ディランを名乗る。60年からニューヨークで生活を始め、62年初アルバム『ボブ・ディラン』を発表。次作アルバム『フリーホイーリン・ボブ・ディラン』（1963）に収録された反戦歌「風に吹かれて」が、ピーター・ポール・アンド・マリーのレコードで大ヒットし、プロテスト・ソング、モダン・フォーク運動の中心人物となった。その後、ロックの感覚とサウンドを取り入れた「ライク・ア・ローリング・ストーン」（1965）などでフォーク・ロックを創始、表現と活動の幅を広げた。79年グラミー賞最優秀ロック男性歌唱賞を受賞。91年グラミー賞特別功労賞を受賞。2000年『シングス・ハブ・チェンジド』でアカデミー主題歌賞を受賞。

（『日本大百科全書（ジャパナレッジ）』のディランの項目（執筆：青木啓）を要約・一部改変したもの）

■ディランの詩については、難解と言われることがあるようですが、例えば、音楽にうまく乗せるために、独特の単語を使っているということもあるのでしょうか？「吟遊詩人」と呼ばれることもありますね。

他の人が使わないようなという意味での独特の単語を使っているとは思いません。「吟遊詩人」ということでは、世界に向けて発信できる録音技術を活用し、世界を飛び回れる空路を利用する現代の吟遊詩人だと思います。その点からして、自分の「詩」がこれだけ世界中に発信できている「詩人」は他にいないということになります。

■楽曲としては「風に吹かれて」が有名ですが、特に文学的に見て評価が高いと思われる作品を教えてください。

スウェーデン・アカデミーの事務局長も挙げていた66年の2枚組アルバム『ブロンド・オン・ブロンド』だと思います。「詩の新たな表現法の創出」が、ここでとりわけ目立っているからです。これは私の好きな作品でもあります。

■ディランは、今回、文学賞を受賞したのですが、その詩については、やはり曲と一体となった「ディランによる表現」で味わうべきものという気がします。例えば、ディランの詩に別の曲を付けることなどは考えられますか？

いずれの歌詞も、それ自体が独立したものとして作られたとは到底思えず、どれかの歌詞に別の曲をつけることは想定できません。

■ディランの肩書については、「フォーク・ロック歌手」と書かれることが多いのですが、具体的には、どういうスタイルになるのでしょうか？ディランは、詩も音楽も年代とともに変化しているようですが。

「フォーク・ロック歌手」と呼ばれたのは60年代後半の時期に限られており、「フォーク・ロック」自体も長く続いてはおりません。つねに変化し続け、新たな自分を創り出してきているシンガー・ソングライターであって、スタイルの限定を回避してきていると思います。その辺りのことを簡便に知るには、1976年の本ではありますが、『ロック・エンサイクロペディア』中の項目「ディラン」が秀逸かと思います（邦訳は、みすず書房2009年刊、三井徹訳）（中央図書館 参考 764.7 : H268）。

■「転がる石のように」変化を続けているのですね。ディランの同時代のアーティストにビートルズがいますが、お互いに影響を与え合って、変化してきたのでしょうか？

まさに「お互いに影響を与え合って、変化してきた」と思いますし、世界の多くの人がそう思っています。

■それにしてもディランについては、評伝や研究書がたくさんありますね。これは他のアーティストにないものなのでしょうか？アメリカのスーパースターならではの現象でしょうか？

本の数では、米国のエルヴィス・プレスリー、それに英国のビートルズに関するものが突出しています。その多さは世界規模の人気に比例してのことだと思います。

■ディランについては、こういった内容の研究が多いのでしょうか？

「研究」ということでは、文化現象としてのもの、そして当然ながら文学面と音楽面からのものが多いと思います。



ディランの研究書の代表作「Song and Dance Man」(右)と三井先生による訳本「ディラン、風を歌う」(左)

ノーベル文学賞受賞記念特別展示「ボブ・ディランを読む」を開催

ディラン氏のノーベル賞受賞を記念して、12月1日～21日に中央図書館カウンター前で三井先生からご寄贈いただいた図書を中心に、ディラン関係の書籍約90冊の展示を行いました。この展示は地元メディアの注目を集め、次のとおり報道されました。北國新聞（12月6日）、毎日新聞（石川版）、北陸中日新聞（12月7日）、北陸朝日放送（12月7日）、北陸放送（12月8日）、朝日新聞（石川版）（12月9日）



■今回の受賞を機会に、ディランについての学術的な研究は今後増えていくと思いますが、特に重要な著作を教えてください。

評論書ではなく研究書であり、それも新しいものとなると、*Bob Dylan* by Keith Negus (Equinox, 2008) (中央図書館 開架 767.8 : N394) でしょうか。

■総合大学の図書館としても、今後、より幅広いジャンルについての資料収集が重要だと改めて感じました。今回は、どうもありがとうございました。

(聞き手：情報サービス課長 橋 洋平)

ディランについて、もっと読んでみたい方には…

三井先生がディランについて執筆または翻訳された著作・論文・記事で、中央図書館で閲覧可能なものを紹介しましょう。

- カール・ベルツ著、中村とうよう・三井 徹訳『ロックへの視点』音楽之友社、1972 (中央図書館 書庫 764.7 : B454) *pp. 221-233 「ボブ・ディラン」
 - 三井 徹訳編『ボブ・ディラン語録』ブロンズ社、1973 (中央図書館 開架 767.8 : B663)
 - マイケル・グレイ著；三井 徹訳『ディラン、風を歌う』晶文社、1973 (中央図書館 開架 767.8 : G781) *1972年刊「Song and Dance Man」の翻訳。ディランの文学面に重点が置かれた評論・研究書の代表作。
 - 三井 徹、菅野彰子訳『ローリングストーンインタビュー集2』草思社、1974 (中央図書館 書庫 767.8 : R754 : 2) *30ページに及ぶディランへのインタビューを収録
 - 三井 徹「ディラン公演とカリズマ」北國新聞1974年6月4日付
 - ウィリアム・シェイファ著、三井 徹訳『ロックの意味』草思社、1975 (中央図書館 書庫 764.7 : S296) *「ボブ・ディランの夢」(pp. 28-36)
 - 三井 徹『ロックの美学』ブロンズ社、1976 (中央図書館 書庫 767.8 : M684) *「ジャック・エリオットとボブ・ディラン」(pp. 122-127)
 - 三井 徹「歌」のよみがえり——ウディ・ガスリー、ディラン他」ユリイカ 7 (8), pp. 116-125, 1975
 - フィル・ハーディ、デイヴ・ラング編；三井 徹訳『ロック・エンサイクロペディア：1950s-1970s』みすず書房、2009 (中央図書館 参考 764.7 : H268) *「ディラン」(pp. 365-370) 原書は全3巻、1976年刊
 - 三井 徹『ロック音楽：汎世界的意識革命を表すもの』(放送による金沢大学公開講座) 金沢大学大学教育開放センター、1979 (中央図書館 開架 764.7 : H827)
 - *「ボブ・ディラン」(pp. 53-58)
 - 三井 徹「ディランの新作「スロウ・トレイン・カミング」：ディランの詩心は枯れるのか」(ボブ・ディラン特集) ユリイカ 12 (1), pp. 106-115, 1980
 - グリーン・マーカス著、三井 徹編訳『ロックの「新しい波」』晶文社、1984 (中央図書館 開架 764.7 : M322) *「ディランの『スロウ・トレイン』には、自分自身の罪の意識も謙虚さもない」(pp. 39-43)
 - 三井 徹「ディラン」、石川弘義ほか編『大衆文化事典』弘文堂、1991, p. 521 (中央図書館 参考 361.5 : T185)
 - ジョウ・スミス編；三井 徹訳『ポップ・ヴォイス』(新潮文庫) 新潮社、1995 (中央図書館 開架 764.7 : S642) *ディランへのインタビューを収録 (pp. 258-261)
 - 三井 徹「ディランがプロテスト歌手として脚光を浴びる」、三井 徹ほか編『クロニクル：20世紀のポピュラー音楽』平凡社、2000, pp. 135-136 (中央図書館 参考 764.7 : C557)
 - 三井 徹「ディランの出現と歌の「力」の再興：60年代回顧」(総特集ボブ・ディラン) 現代思想 38 (6) pp. 38-52, 2010
- 三井先生は、今回のディラン氏の受賞決定後、次の記事も書かれています。あわせてご覧ください。
- 三井 徹「詩と音楽結びつけ：ボブ・ディラン氏、ノーベル文学賞」毎日新聞 2016年10月18日付
 - 三井 徹「「ボブ・ディランにノーベル文学賞」の事情：詩の口頭表現に卓越、選考過程に興味津津」北陸中日新聞 2016年12月10日付
- (上記2点とも、「」内は新聞社が付けた見出し)

三井 徹 (みつゐ・とおる) 金沢大学名誉教授 (音楽学・英文学)。日本ポピュラー音楽学会初代会長 (1990-1994, 2002-2004)、国際ポピュラー音楽学会会長 (1993-1997)。米英日のポピュラー音楽に関する著書、編書、訳書等多数。先生はボブ・ディランの1歳年上、ジョン・レノンと同年齢でいらっしやいます。

金大生のための読書案内－教員から学生へ



福士 圭介 先生
(環日本海域環境研究センター)

「大学生小説」

平成29年1月4日～ 中央図書館で展示中



第21回

教員から教員へ、リレー形式で続いている「金大生のための読書案内」は、今回で第21回を迎えました。今回バトンを受け取ってくださったのは環日本海域環境研究センターの福士圭介先生です。

私は大学学部生の約4年間で北海道大学の恵迪寮で過ごした。恵迪寮では、各階のブロックごとに約10人のグループをつくり共同生活を送った。個室用の居室は机を並べて共同の勉強部屋とし、ベッドを並べて共通の寝室とした。また個室間の壁をとりはらい、大部屋として利用することもあった。部屋には日常のゴミがたまり、半年もたつと地層をなした。我々は同じ釜のメシを食い、同じ瓶の酒を飲み、同じように単位を落としていったのであった。

もう一度当時に戻りたいとは思いませんが、当時の経験や、そこで出会った人々が私の人格形成に与えた影響は大きいような気がします。大学生のみなさんは意識していないかもしれませんが、いまここで、今後の人生を左右する経験や出会いをしているかもしれません。大学生や大学生活を取り扱った小説作品は時代を問わずに発表されています。ここでは、印象に残っている大学生を題材とした小説を紹介します。

	書名 著者・出版事項
1	北の海 (新潮文庫) 井上靖著, 新潮社, 2003.8
2	されどわれらが日々 柴田翔著, 文藝春秋, 1964
3	ノルウェイの森 村上春樹著, 講談社, 1987.9
4	優しいサヨクのための嬉遊曲 (新潮文庫) 島田雅彦著, 新潮社, 2001.8
5	七帝柔道記 増田俊也著, 角川書店, 2013.2
6	反乱のボヤージュ (集英社文庫) 野沢尚著, 集英社, 2004.8
7	NHKにようこそ! (角川文庫) 滝本竜彦著, 角川書店, 2005.6
8	Nのために (双葉文庫) 湊かなえ著, 双葉社, 2014.8
9	クローズド・ノート (角川文庫) 栗井脩介著, 角川書店, 2008.6
10	恋文の技術 (ポプラ文庫) 森見登美彦著, ポプラ社, 2011.4

おすすめ図書紹介文の全文は、展示コーナーの他に、図書館Webサイトの次のページでもご覧いただけます。

http://library.kanazawa-u.ac.jp/index.php?page_id=297

- 第18回「感性を磨く昭和の名作文庫、視野を広げる平成の秀作新書（人間社会研究域歴史言語文化学系）古畑徹先生」は自然科学系図書館で展示中です。
- 第19回「読書案内を書き、自分の読書傾向を知る（医薬保健研究域保健学系）横川正美先生」は保健学類図書室で展示中です。
- 第20回「本は別世界への扉（男女共同参画キャリアデザインラボラトリー）西脇ゆり先生」は医学図書館で展示中です。



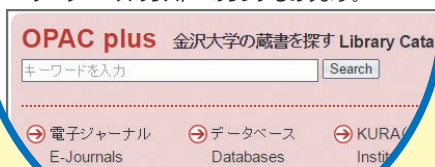
図書館 WEB サイトが 生まれ変わりました

URL : <http://library.kanazawa-u.ac.jp/>

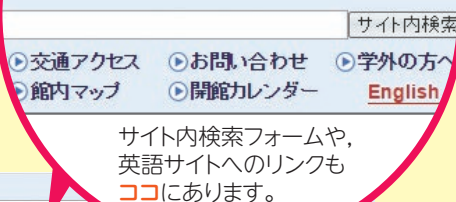
2016年9月30日、
金沢大学附属図書館
WEBサイトのデザイン
が新しくなりました。
今回は、新しくなった
WEBサイトのトップ
ページについて、紹介
します。

金沢大学で所蔵している図書や
雑誌を検索するなら、まずは
ココから!

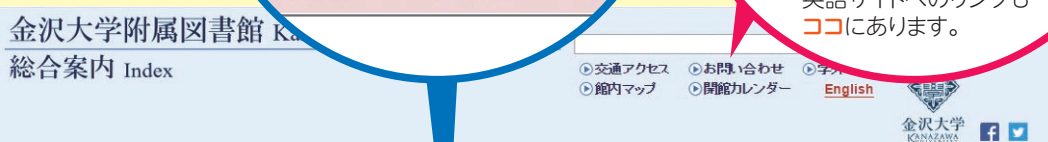
※大学で購入している電子ジャーナルや
データベースのリストへのリンクもあります。



図書館へのアクセス、
各館の館内マップ、
開館カレンダーは**ココ**!
図書館を利用する際は、
カレンダーのチェックを
忘れずに。



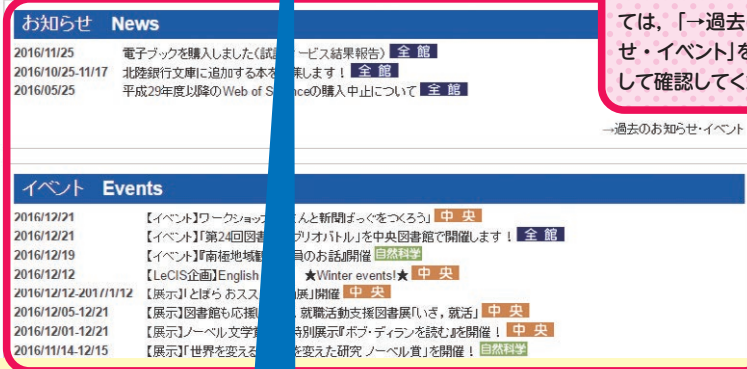
サイト内検索フォームや、
英語サイトへのリンクも
ココにあります。



借りている図書の返却期限を
確認したい時や、論文のコピーを
取り寄せたい時は**ココ**から!
金沢大学IDでログインしてください。



図書館からのお知らせ
やイベント開催の案内
です。
掲載されているものより
前のお知らせについて
は、「→過去のお知らせ・
イベント」をクリック
して確認してください。



4つの図書館・室

利用案内

資料を探す・使う

施設を使う

ラーニング・サポート

各館のページへ
のリンク。各館から
のお知らせや所蔵する資料
の情報などを見ることが
できます。

図書館の
利用に迷ったら、
まずは**ココ**!!

電子ジャーナル、
データベースなど
資料探しに役立つ
情報がまとめてあります。
どうやって資料を探せば
よいかわかったら、**ココ**を
クリックしてみてください。

グループスタジオ
など各館の施設を
利用したい人は
まずは**ココ**を
読んでから。

院生の先輩たちが
みなさんの**学修の**
サポートをします。
詳しくは**ココ**をクリック!

平成28年度 環境に関するイベント報告

●「金大生による“調べ学習”教室：環境について調べてみよう！」を開催（8月8日）

石川県内の小中学生17名とその保護者が参加し、日頃、実験やレポート・論文作成に取り組んでいる本学の学生から、研究テーマの決め方、調査・研究の方法、まとめ方について実践的なアドバイスを受けました。自然科学系図書館内で、環境学コレクションを中心とした図書館資料を利用することで、図書館に親しんでもらうきっかけにもなりました。



＜アドバイザーとして参加した学生のコメント＞

- ・難しい科学の話を子供たちにもわかるように説明するなど、自分にとっても楽しく有意義な時間でした。
- ・貴重な体験でした。

●「いしかわ環境フェア」に出展（8月27、28日）

パネル展示や広報物の配布により、自然科学系図書館内の環境学コレクション及び附属図書館の環境に対する取り組み（いしかわ事業者版ISOの取得、いしかわクールシェアへの参加、利用者へのうちの貸出など）をアピールしました。入場者は27,000人（主催者発表）でした。

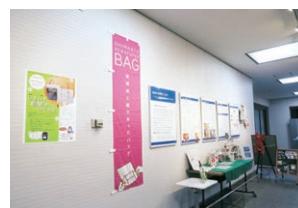


●ワークショップ「しまんと新聞ばっぐをつくろう」（12月21日）

／展示「しまんと新聞ばっぐ展」（12月12日～27日）

11名の参加者が「しまんと新聞ばっぐ」インストラクターの説明を受けながら、古新聞でECOバッグをつくりました。手を動かしながら様々な話を聞くことで、環境について考える契機になったのではないかと思います。また、「おりがみ」という側面にも着目し、留学生への参加を呼びかけました。当日は留学生と日本人学生との交流も図られ、わきあいあいとECOバッグを作っていました。

また、ワークショップに合わせて、中央図書館内のギャラリーαで、新聞ばっぐやパネルなどの展示も行いました。



●命名「エコっくま」（9月29日）

平成27年度以来、エコに関する附属図書館のイベントや取り組みで活躍中のキャラクターの名前が前述のいしかわ環境フェアでのアンケート結果を受けて、「エコっくま」に決まりました。



＜制作者 水上由佳さん(自然科学系図書館職員)のコメント＞

小中学生向イベントのPR用に誕生した「青空の色のクマ」に名前がついたことをとてもうれしく思います。今後は「エコ図書館の環境への取り組み」を象徴するキャラクターに成長してくれるのを楽しみにしています。

※平成28年5月2日付で、金沢大学附属図書館環境行動計画を改訂しました。
<http://library.kanazawa-u.ac.jp/files/kankyo-keikaku.pdf>

皆様のご要望にお応えし、電子ブック 36 タイトルを購入しました!

「今だけ読める! 電子ブックの試読サービス」結果発表

10月5日～11月4日に、国内出版社発行の学術書(電子ブック)約 23,000 タイトルを読み放題にする「試読サービス」を実施したところ、短期間ながら、合計で 1,428 回のアクセスがありました。

この結果、最も多くアクセスされた『原因を推論する ―政治分析方法論のすゝめ』を含む、36 タイトルを購入しました。

購入タイトル

- ◆ 47 都道府県・和菓子 / 郷土菓子百科
- ◆ マジックにだまされるのはなぜか
- ◆ マンガでわかる半導体
- ◆ はじめての統計データ分析
- ◆ 精神医学キーワード事典
- ◆ こころと身体との相互作用
- ◆ ネイティブ添削で学ぶ英文ライティング

など

全タイトルは Web サイトをチェック!

http://library.kanazawa-u.ac.jp/index.php?key=jol1t97se-9#_9

基本的な

テキストブックを購入しました!

海外の教科書を使ってみましょう

金沢大学は、スーパーグローバル大学 (SGU) 創成支援事業採択校として、また、地域と世界に開かれた教育重視の研究大学として、外国人留学生の受入と、英語による授業数の増加を目指しています。

このたび、図書館委員会の先生方の推薦により、各国の大学でよく使われている英語の教科書、31 タイトルを購入しました。専門教科を学ぶだけでなく、専門分野を英語でどのように表現するのか知ることができる英語の教材としても活用してください。

- ◆ Introduction to Algorithms
- ◆ Religions in the Modern World
- ◆ Q&A Public Law
- ◆ An Introduction to Cyberpsychology
- ◆ An Introduction to the Geography of Tourism
- ◆ Quantum Theory
- ◆ Making Political Geography
- , etc.

購入タイトル

全タイトルは Web サイトをチェック!

http://library.kanazawa-u.ac.jp/index.php?key=jo2fusurc-9#_9



電子ブックの使い方については、こだま 190 号も参考にしてください

英語で会話したいけどなかなか機会がない…というそのあなた! English Hour! に参加しませんか?

English Hour! とは?

毎回決まったテーマについて英語だけで会話するトークイベント。英語で会話したい人ならだれでも大歓迎! LeCIS (留学生ラーニング・コンシェルジュ) がサポートします。今後も定期的に開催する予定です。次回もお楽しみに!



2016年のテーマ

- ✓ 英語で自己紹介をしてみよう!
- ✓ Summer vacation!
- ✓ Fall is the best season for ...?
- ✓ Let's play cards!
- ✓ Winter events!

感想 (アンケートより)

- ✓ 思っていたよりも気軽に参加でき、初めて参加したがとても楽しめて友達も増えるので良かった。
- ✓ あまり英語をしゃべれなかったのが次はもっとしゃべりたい。もっと勉強したい!
- ✓ 文化の比較ができて楽しかった。



ラーニング・コモンズ 活動報告 2016年7月～12月

ブックラウンジでの活動

ブックラウンジでのイベント

●10月26日、11月16日、12月21日 第22～24回図書館ビブリオバトル



ギャラリーαでの展示

- 8月1日～10月14日 「第1回～3回輝く金沢大学フォトコンテスト」展
- 12月12日～12月27日 「しまんと新聞ばつぐ展」 ※詳しくは7頁をご覧ください。

国際交流スタジオでの活動

セミナー等の開催

- 10月17日～10月18日 留学生のための図書館利用説明会 **中央**
- 10月19日 留学生のための図書館利用説明会 **自然科学**

LA&LeCIS企画イベント

※English Hour! **中央** は8頁をご覧ください。

- 7月26日 日本の民話「紙芝居」ショー **中央**
- 10月26日 ハロウィーンは折り紙を楽しもう! **中央**
- 12月19日 南極地域観測隊員のお話 **自然科学**



祝

受賞おめでとう！島崎莉奈さん



「全国大学ビブリオバトル～首都決戦～」に平成25年と平成27年に北陸代表として出場した国際学類4年生の島崎莉奈さんが『学長奨励賞(課外活動部門)』を受賞しました。

学長奨励賞の伝達式は、11月14日に国際学類長室で行われ、加藤和夫国際学類長から賞状が手渡された後、加藤国際学類長と志村恵附属図書館副館長と一緒に記念撮影を行いました。島崎さんは、

1年生のときから中央図書館で実施している「図書館ビブリオバトル」に参加。その努力と活躍が認められての受賞でした。

《島崎さんからのコメント》

ビブリオバトルで学長奨励賞を受賞することができうれしく思っています。多くの人に自分の好きな本の魅力を伝えることのできるビブリオバトルは読書好きにはぴったりです。みなさんもぜひ参加してみてください。

祝

優勝おめでとう！ 山下司さん



11月26日に富山市立図書館で開催された「全国大学ビブリオバトル 北陸地区決戦」に金沢大学から3人が出場し、人文学類1年の山下司さんが紹介した「手掘り日本史」がチャンプ本に選ばれました。(写真：11月16日開催第23回図書館ビブリオバトルにて)

図書館学生ボランティア とぼらニュース

とぼらオススメ映画展(12月12日～1月12日)を企画しました
「とぼら」メンバー自らが選んだ映画(DVD)29点を手作りポップで紹介しました。



ポップ作成中の
「とぼら」メンバー



●10月5日に中央図書館2階にある「とぼら選書コーナー」の総入れ替えを行いました。公募した学生4人と「とぼら」メンバー4人が7月9日に金沢市内の書店で選んだ63冊です。ブックラウンジにある「ほん和か文庫」の入れ替え作業も行い、39冊が新たに加わりました。

●10月31日に「ほん和かふえ。」の模様替えをしました。「ほん和か文庫」の利用促進のために書棚の場所を変えたところ、手に取って読んでいる姿が多く見られるようになりました！

とぼらシアターを 8月4,5日に開催しました

とぼらシアター

★全日本学生演劇コンテスト★
アカデミー賞受賞作品

「黒いオルフェ」
ORFEO NEGRO

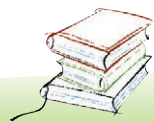
上演時間：105分
全席指定（中学生以上）
観劇券：1000円
入場券：500円

とぼらシアター

★全日本学生演劇コンテスト★
アカデミー賞受賞作品

「猫侍」

上演時間：105分
全席指定（中学生以上）
観劇券：1000円
入場券：500円



図書館

トピックス

8/9-8/10 オープンキャンパス 2016
サマー・アドベンチャー

中央

高校生及び保護者を対象に、15分で中央図書館と資料館を巡るセルフツアーを開催し、2日間で504名の参加がありました。例年に比べ、各チェックポイントをじっくり見ながらクイズに取り組んでいる参加者が多いのが印象的でした。ゴールした参加者には、「ほん和かふえ。」のドリンク券と図書館作成の葉を進呈しました。



また、昼休みには、図書館学生ボランティア「とぼら」メンバーが「学生生活」について語るトークショーをブックラウンジで開催しました。

10/5 開館お知らせにBGM♪

中央

中央図書館の朝の開館をお知らせする音をタイマーのベル音から、朝に相応しい、ヴィジュアルディ作曲の「マンドリン協奏曲 ハ長調RV425第1楽章」に変更しました。ほんの30秒ほどですが、「今日もよし、やるぞ!」という気持ちになれるBGMです。

10/19 平成28年度金沢大学避難訓練に参加

中央 自然科学

角間キャンパスの全学生・教職員を対象とした、大規模地震を想定した「一斉避難訓練」に図書館も参加しました。11時40分、学内放送を合図に避難訓練が開始されると、図書館スタッフは、館内の利用者を避難場所に誘導しました。利用者は皆、落ち着いて避難場所に集まっていました。

宝町キャンパスでは10月17日に行なわれました。

11/17-11/18
第12回ブックリユース市

中央

秋のブックリユース市を人間社会学域側エントランスホールで開催しました。2日間で1,412冊のうち1,000冊が新しい持ち主の手に渡っていきました。



文献検索講習会などを開催

- ・9/28 Scopus&Mendeley 講習会 **医学**
- ・9/29 Scopus&Mendeley 講習会 **中央 自然科学**
- ・10/21 「EBMR」データベース利用説明会 **医学**
- ・10/24-10/26 図書館活用ミニ講座「卒論・レポートのための資料の集め方」 **中央**
- ・10/28 平成28年度大学間連携共同教育推進事業図書館機能強化プログラム「ライティング支援者研修:学生レポート・論文の相談に対応する」 **中央**



- ・11/18,21,22 レポート作成基礎講座 **中央**
- ・11/25 CINAHL (シナール) 講習会 **保健**

資料展示

中央図書館・自然科学系図書館・医学図書館

- 3館同時開催企画展示「没後150年シーボルト展」(10/3~10/27)



中央図書館

- 学生企画協力展示「国際ガールズ・デー ブック展」(10/3~10/16)
- 企画展示「地震に備えよう!2016」(10/17~11/6)
- 夏目漱石没後100年・シェイクスピア没後400年記念企画展示「漱石とシェイクスピア:大文豪の作品を読んでみよう」(11/14~12/4)
- ノーベル文学賞受賞特別展示「ボブ・ディランを読む」(12/1~12/21) ※詳しくは、1~4頁をご覧ください。
- 就職活動支援図書展「いざ、就活」(12/5~12/21)
- 教員企画協力展示「アフリカの絵本ってどんなの?」(1/16~1/29)
- 企画展示「ビブリオバトルで戦った本たち2016」(1/16~2/10)

自然科学系図書館

- 企画展示「世界を変える、世界を変えた研究 ノーベル賞」(11/4~12/15)

医学図書館

- 企画展示「図書館で今すぐできるCBT・OSCE対策」(9/26~10/31)

編集後記

今号はボブ・ディラン展をはじめ、お伝えしたいことが多く、盛りだくさんとなりました。お楽しみいただけたら幸いです。

広報委員会メンバー

橋 洋平 瀧口玲子 小川真由美 川井奏美
作田真由美 島田咲彩 菅 広太 守本 瞬

金沢大学附属図書館報「こだま」第191号

平成29年1月27日発行 発行:金沢大学附属図書館

編集:広報委員会 印刷:株式会社 橋本確文堂

〒920-1192 金沢市角間町 TEL:076-264-5200

E-mail: etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp

*この印刷物は再生紙を利用しています。